

名前【

神戸新聞 2020年08月29日 土曜日 面名 タニ社 タ4 6ページ

リニア中央新幹線の立て坑に下ろされるシールドマシンのカッターヘッドの一部。下はマシン本体＝7月21日、東京都品川区（JR東海提供）



東京・品川駅近くのリニア中央新幹線建設現場「北品川非常口」で、地下約80メートルの立て坑にトンネル掘削用のシールドマシンを運んで組み立てる作業が本格化している。都心に眠る「鉄のモグラ」は円筒形で直径14メートル、長さ14.5メートル、重さ約3千トン。鉄道建設用では国内最大級だ。三菱重工神戸造船所（神戸市兵庫区）で製作され、搬送のためいったん分解。9月末までの半年がかりで完成させる。

「鉄のモグラ」威容徐々に
リニア通る地下トンネル掘削へ

三菱重工神戸造船所製作 直径14メートル、搬入進む

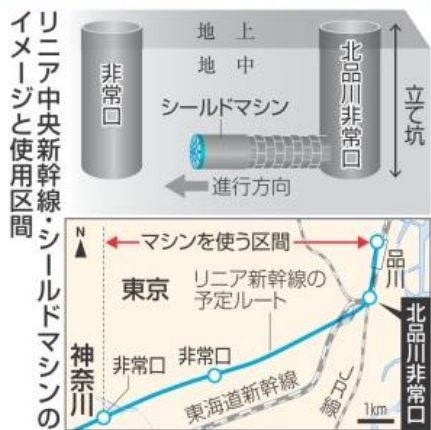


7月下旬、直径約30メートルのぼっかり開いた穴に、固い地盤を削る「歯」が約700個付いたカッターヘッドを下ろす作業が続いた。扇形に分けられたヘッドは、大型クレーンで地下にゆっくりと潜っていった。

JR東海によると、マシンはまず立て坑から川崎市まで8.2キロを掘削。その後逆方向の品川駅まで1キロを掘る。工事は2021年度に始まり、25年度に終了の見通しという。

リニア新幹線は首都圏や名古屋周辺の都市部ではこの現場のような「大深度地下」のトンネルを走る。建設工事では約5メートル間隔の立て坑に、シールドマシンを下ろして掘削する。1日当たり約20メートルを掘ることが可能という。

リニア中央新幹線トンネル掘削用シールドマシンのカッターヘッド（中央手前）を立て坑に下ろすための準備作業＝7月17日、東京都品川区（JR東海提供）



- ① 何の工事で使われていますか。
- ② シールドマシン「鉄のモグラ」の規模や能力を書きましよう。
- ア 円筒形で直径 メートル、長さ メートル、重さ約 トン。
- イ 固い地盤を削る「歯」が約 個付いたカッターヘッド。
- ウ 1日当たり約 メートルを掘ることが可能という。
- ③ 首都圏や名古屋周辺の都市部でこの列車が走るところは何というでしょうか。

大

リ

建設現場